

# 岡山県感染症週報 2012 年 第 6 週 (2 月 6 日～2 月 12 日)

岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

## ◆2012 年 第 6 週 (2/6～2/12) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

- 第 4 週 2 類感染症 結核 1 名 (60 代 女)  
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (20 代 女)  
 5 類感染症 梅毒 1 名 (60 代 男)  
 第 5 週 2 類感染症 結核 1 名 (40 代 女)  
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (50 代 男)  
 第 6 週 5 類感染症 麻しん 2 名 (幼児 女 1 名、10 代 男 1 名) の報告がありました。

### ■定点把握感染症の発生状況

- インフルエンザは、県全体で 2,324 名 ( 定点あたり 27.67 人 ) の報告があり、2 週つづけて減少しました。  
 ○感染性胃腸炎は、前週からほぼ横ばいでした。

### 【第 7 週 速報】

- インフルエンザとみられる臨時休業が、94 施設ありました (13 日～16 日まで)。  
 ▽岡山市 36 ▽倉敷市 25 ▽備前地域 14 ▽備中地域 6 ▽備北地域 7 ▽真庭地域 3 ▽美作地域 3  
 ○感染性胃腸炎による臨時休業が、津山市の小学校 (13 日)、倉敷市の幼稚園 (15 日)、岡山市の幼稚園 (16 日)、早島町の学校 (16 日) でありました。  
 ○流行性耳下腺炎による学校閉鎖が笠岡市の幼稚園でありました (14 日)。

1. **インフルエンザ**は、県全体で 2,324 名 ( 定点あたり 27.67 人 ) の報告があり、前週 ( 定点あたり 30.51 人 ) より減少しました。岡山県ではひきつづき『[インフルエンザ警報](#)』を発令し、注意喚起を図っています。県全体の感染症発生レベルは 3、地域別では岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、美作地域がレベル 2 で、流行がつづいています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『[インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。

全国の第 5 週 (1/30～2/5) 定点あたり報告数は 42.62 人で (前週 35.95 人)、27 の都道府県で定点あたり患者数が 40.00 人を上まわっています。36 都道府県で前週の報告数よりも増加が見られ、また減少している県も認められます。

2. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週からほぼ横ばいでした (定点あたり 7.63 → 7.69 人)。感染性胃腸炎による学級閉鎖が 2 施設でありました。詳しくは『[感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
3. **麻しん**の発生が 2 名ありました。患者は幼児 1 名と、10 代 1 名で、第 3 週に発生した麻しん患者の接触者です。県内では、今年はまだ 4 名の麻しん患者が発生しており、いずれも同じ遺伝子型 (D9 型) の麻しんウイルスが検出されました。D9 型は、主に東南アジアで流行している麻しんウイルスです。最初に発生した麻しん患者は、東南アジアへの渡航歴があります。

麻しんは予防接種で防げる病気です。定期予防接種の対象となる方はぜひ予防接種を受けましょう。定期予防接種では、麻しん・風しんの混合ワクチン (MR ワクチン) として接種します。詳しくは、お住まいの市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。また、実際の接種に当たっては、医療機関にご相談ください。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

### 【記号の説明】

前週からの推移：  
 2倍以上の減少    1.1~2倍未満の減少    1.1未満の増減  
 1.1~2倍未満の増加    2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

保健所別報告患者数において

数字は感染症マップにおいてレベル3、

数字は感染症マップにおいてレベル2を示しています。

## インフルエンザ情報 第 6 週 2012 年 2 月 6 日 ~ 2 月 12 日

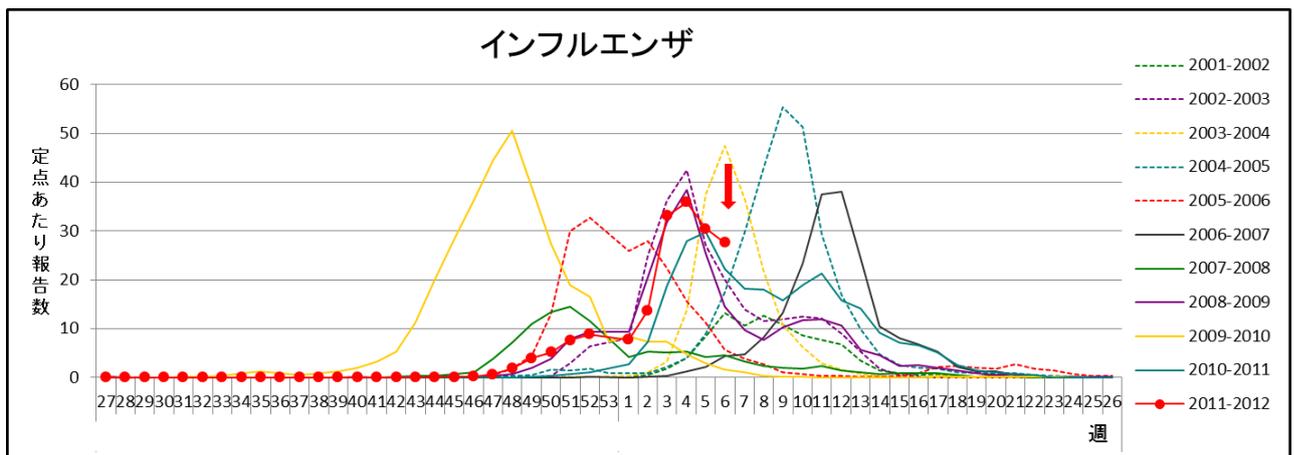
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

## ➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 2,324 名（ 定点あたり 27.67 人 ）となり、2 週つづけて減少しました。
- 県全体では感染症発生レベル 3 で、流行が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 112 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、7 名ありました。

【速報】第 7 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 94 施設でありました。（ 13 日～16 日まで）

▽岡山市 36 ▽倉敷市 25 ▽玉野市 6 ▽赤磐市 6 ▽高梁市 5 ▽真庭市 3 ▽新見市 2 ▽総社市 2  
▽笠岡市 2 ▽和気町 2 ▽井原市 1 ▽津山市 1 ▽美作市 1 ▽里庄町 1 ▽鏡野町 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 2,324 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 27.67 人 ）であり、二週つづけて前週（ 2,563 名 定点あたり 30.51 人 ）より減少しました。岡山県は、ひきつづき県内に『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。地域別では、真庭地域（ 55.67 人 ）、倉敷市（ 41.50 人 ）、備前地域（ 26.07 人 ）、備中地域（ 25.92 人 ）、岡山市（ 25.68 人 ）、美作地域（ 17.20 人 ）、備北地域（ 9.00 人 ）の報告があり、真庭地域と倉敷市で患者が増加しました。特に真庭地域では 1 月下旬から患者の急増がつづいています。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域がレベル 3、美作地域がレベル 2、備北地域はレベル 1 であり、患者数は減少したものの流行は継続しています。

県内のインフルエンザウイルスの主流は AH3 型ですが、B 型の流行も確認されています。一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再び感染することがあります。ひきつづき『外出後や食事前の手洗い・うがいを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠をとる。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケット※を心がけましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

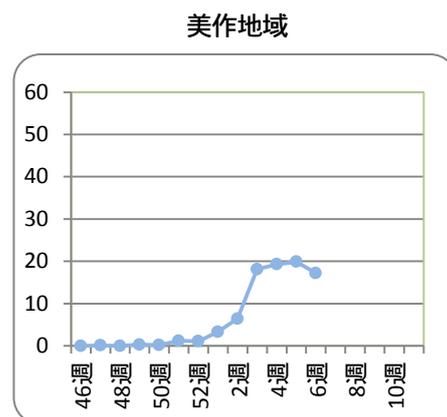
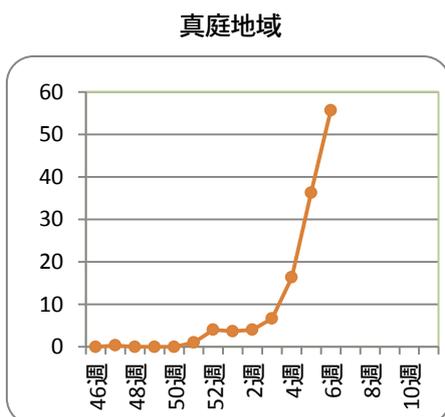
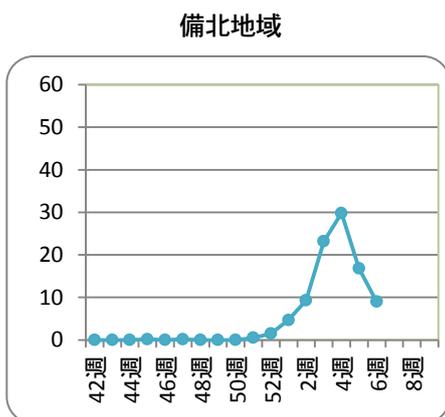
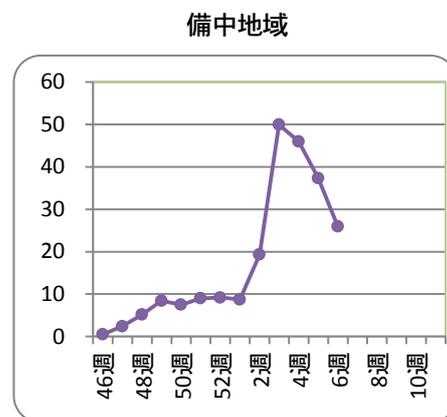
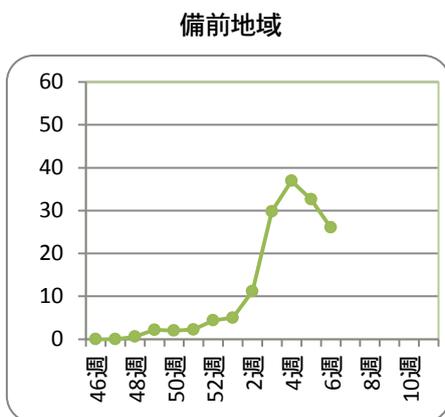
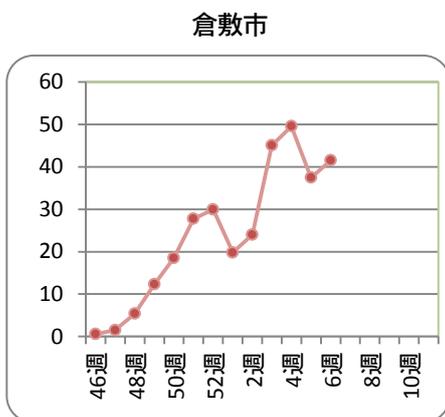
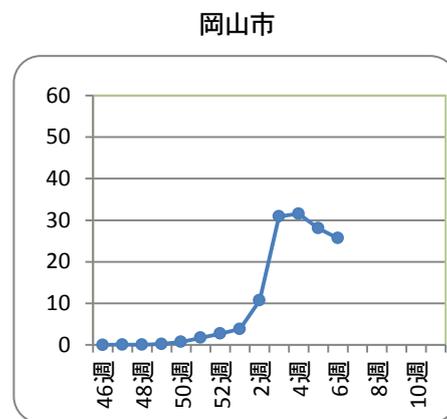
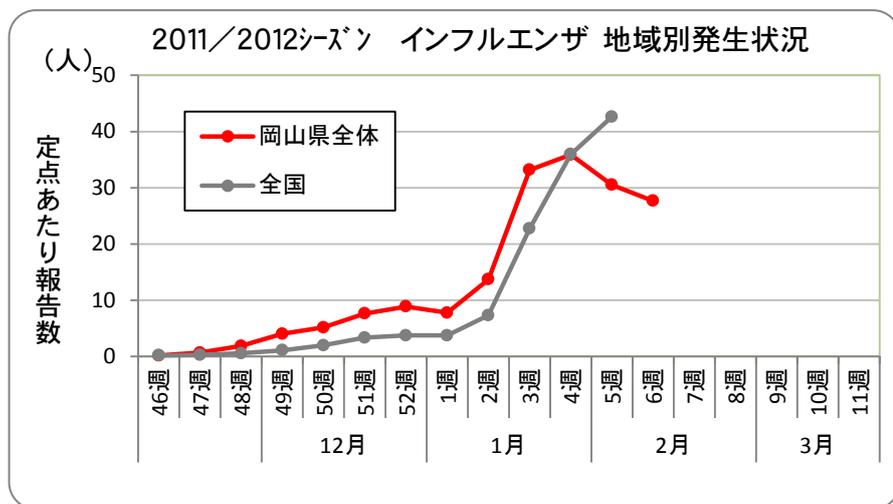
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

# 1. 地域別発生状況

第6週 (2/6~2/12) 前週からの推移 (単位:人)

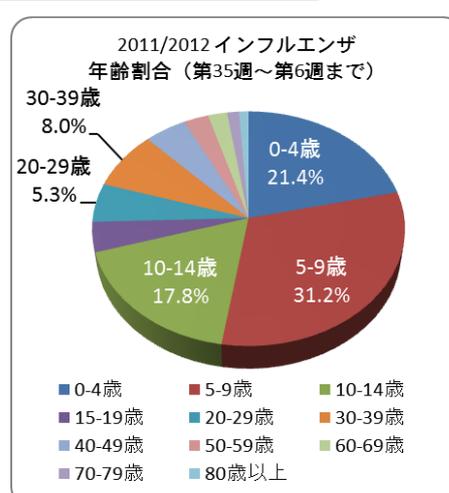
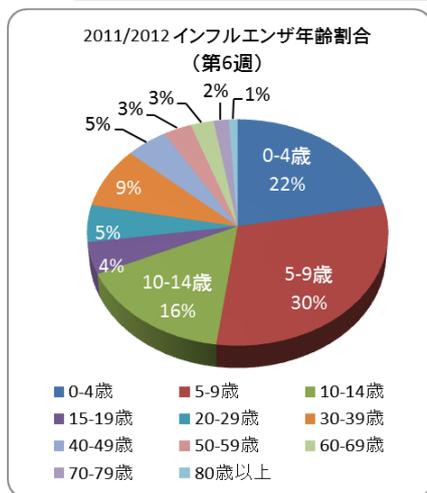
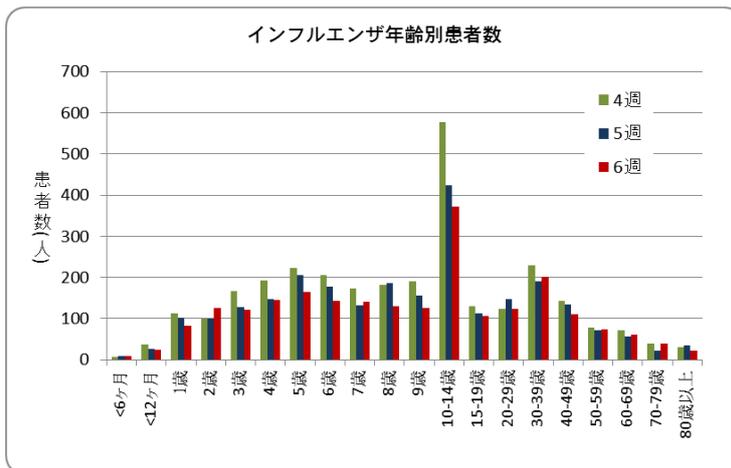
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2,324	↘	備 中	患者数	311	↘
	定点あたり	27.67			定点あたり	25.92	
岡山市	患者数	565	➡	備 北	患者数	54	↘
	定点あたり	25.68			定点あたり	9.00	
倉敷市	患者数	664	↗	真 庭	患者数	167	↗
	定点あたり	41.50			定点あたり	55.67	
備 前	患者数	391	↘	美 作	患者数	172	↘
	定点あたり	26.07			定点あたり	17.20	

【記号の説明】 前週からの推移: ↘ 2倍以上の減少    ↙ 1.1~2倍未満の減少    ➡ 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1~2倍未満の増加    ↗ 2倍以上の増加



## 2. 年齢別患者発生状況 第6週（2/6～2/12）

第6週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の30%で最も多く、0-4歳が22%、10-14歳が16%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が患者の多くを占めています。



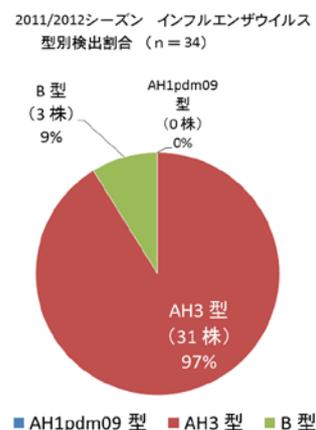
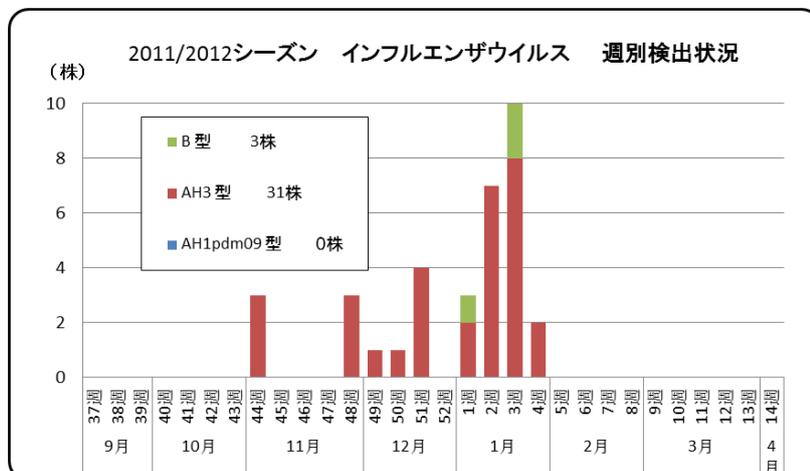
## ➤ インフルエンザウイルス検出状況 第6週（2/6～2/12）

第6週に当センターで検出されたインフルエンザウイルスはありません。

岡山県でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 31 株、B 型が 3 株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3 型の割合が最も多く 88.4% (1,790 株)、B 型が 11.3% (228 株)、AH1 pdm09 型が 0.3% (6 株) の順になっています。AH3 型が主流ですが、B 型の検出も増加しています。

[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン\)](#)



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第6週 (2/6~2/12)

学校等の臨時休業が県内全域の112施設でありました。

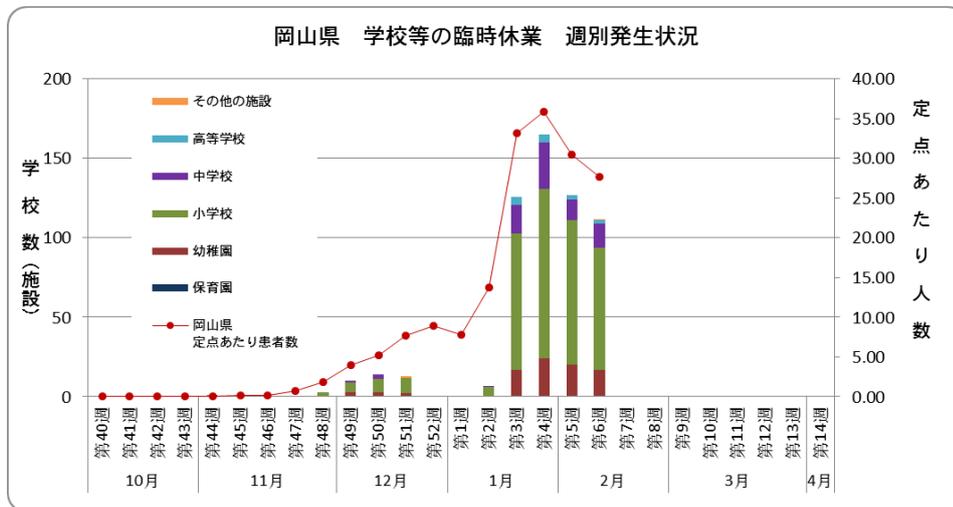
措置別：休園・休校 3施設、学年閉鎖 29施設、学級閉鎖 80施設

施設別：幼稚園 17施設、小学校 77施設、中学校 15施設、高等学校 2施設、その他 1施設

有症者数は1,673名、うち欠席者数1,205名でした。

第6週までの合計は、有症者数9,853名、うち欠席者数7,067名、施設数はのべ578施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第6週】

(第7週発生の臨時休業数の掲載は、第7週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>1,673</b>	<b>9,853</b>	<b>1,205</b>	<b>7,067</b>	<b>112</b>	<b>578</b>	<b>3</b>	<b>21</b>	<b>29</b>	<b>165</b>	<b>80</b>	<b>392</b>	<b>H23.10.31</b>
岡山市	831	4,241	630	2,878	51	229	1	2	7	40	43	187	H23.12.15
倉敷市	206	2,302	172	1,710	20	120	0	3	3	20	17	97	H23.10.31
備前地域	238	1,141	187	929	19	78	1	4	6	35	12	39	H23.12.5
備中地域	85	1,078	73	896	9	86	0	6	5	36	4	44	H23.11.30
備北地域	7	201	7	132	1	17	0	1	1	7	0	9	H24.1.16
真庭地域	222	372	94	211	7	14	1	3	5	8	1	3	H24.1.13
美作地域	84	518	42	311	5	34	0	2	2	19	3	13	H24.1.16

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第6週 (2/6~2/12)

岡山市：幼稚園10 小学校33 中学校6 高等学校1 その他1

倉敷市：幼稚園3 小学校16、中学校1

備前地域：幼稚園1 小学校13 中学校5

備中地域：幼稚園2 小学校7

備北地域：小学校1

真庭地域：幼稚園1 小学校3 中学校2 高等学校1

美作地域：小学校4 中学校1

第6週：112施設

累計：578施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	17	86	77	395	15	80	2	15	1	2

【第7週 学校等の臨時休業 速報】(2/13~2/16まで)】

【措置別】

休校4施設：岡山市1、倉敷市1、井原市1、鏡野町1

学年閉鎖21施設：岡山市5、倉敷市3、玉野市3、和気町1、笠岡市1、高梁市3、新見市1、真庭市2、津山市1

学級閉鎖69施設：岡山市30、倉敷市21、赤磐市6、玉野市3、総社市2、笠岡市1、里庄町1、高梁市2、新見市1、真庭市1、美作市1

【施設別】 保育園 0 ▽幼稚園 18 ▽小学校 63 ▽中学校 10 ▽高等学校 3 ▽その他 0

【日付・地域別】

2月13日 ▽岡山市：14 ▽倉敷市：15 ▽備前地域：玉野市5、赤磐市2、和気町1、  
(49施設) ▽備中地域：総社市2、笠岡市2、里庄町1 ▽備北地域：高梁市2、新見市1  
▽真庭地域：真庭市2 ▽美作地域：美作市1、鏡野町1

2月14日 ▽岡山市：13 ▽倉敷市：4 ▽備前地域：赤磐市1 ▽備北地域：高梁市1 ▽真庭地域：真庭市1  
(20施設)

2月15日 ▽岡山市：4 ▽倉敷市：3 ▽備前地域：玉野市1、赤磐市1 ▽備北地域：新見市1  
(11施設) ▽美作地域：津山市1

2月16日 ▽岡山市：5 ▽倉敷市：3 ▽備前地域：赤磐市2、和気町1 ▽備中地域：井原市1  
(14施設) ▽備北地域：高梁市2

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第6週 (2/6~2/12) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

第6週、インフルエンザによる入院患者7名(幼児3名、10代1名、20代1名、60代1名、80代1名)が報告されました。入院患者の多くは、5歳以下の幼児と70歳以上の高齢者です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第6週 入院患者数】

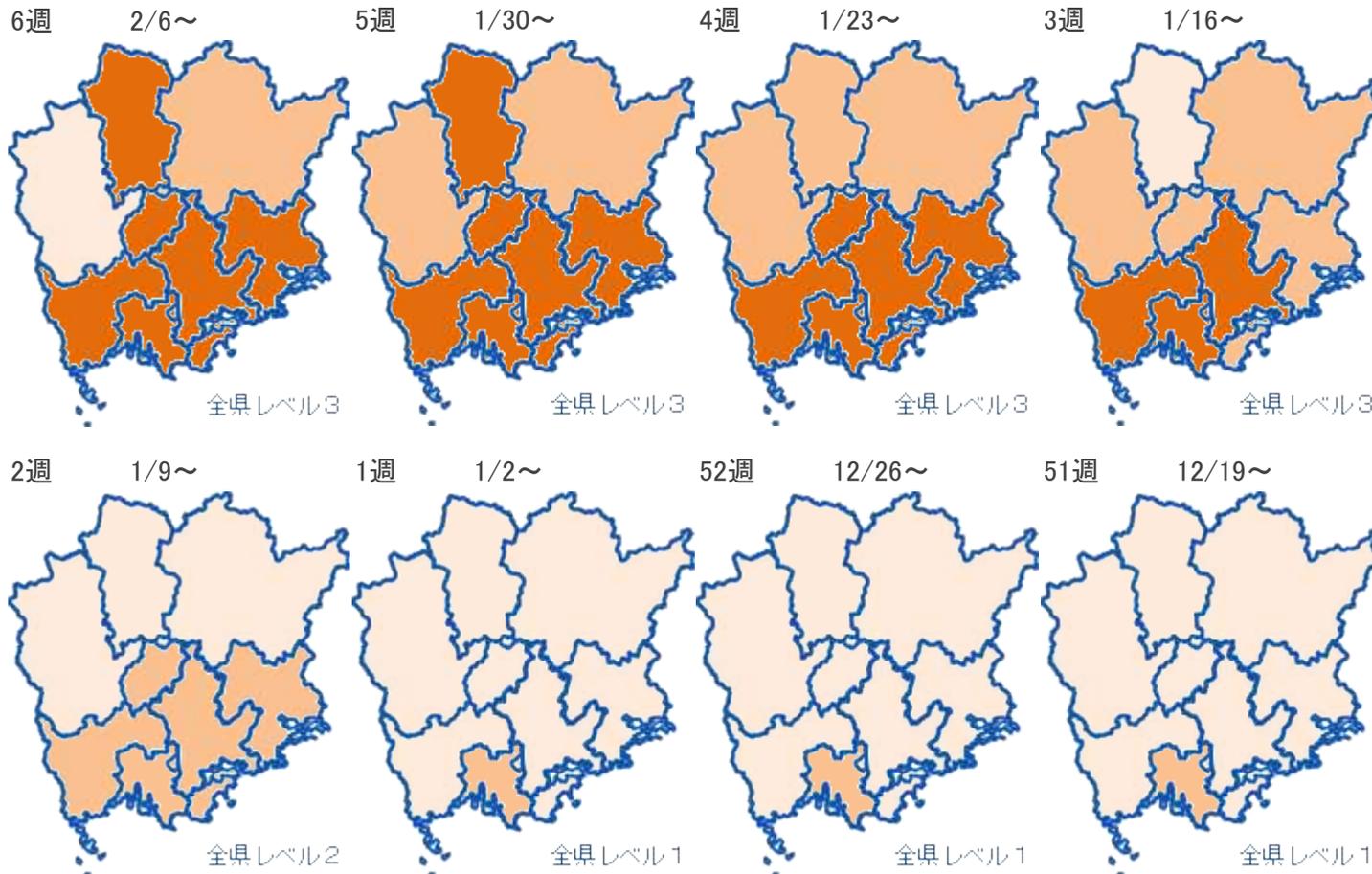
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1		2	1		1				1		1	7
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)				1									1
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1		2			1						1	5

\*重複あり

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	6	16	8	2	1	1	1			3	10	16	64
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	3	1	1						4	1	16
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5									3	1	9
いずれにも該当せず	6	8	5	1		1	1			2	4	15	43

\*重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

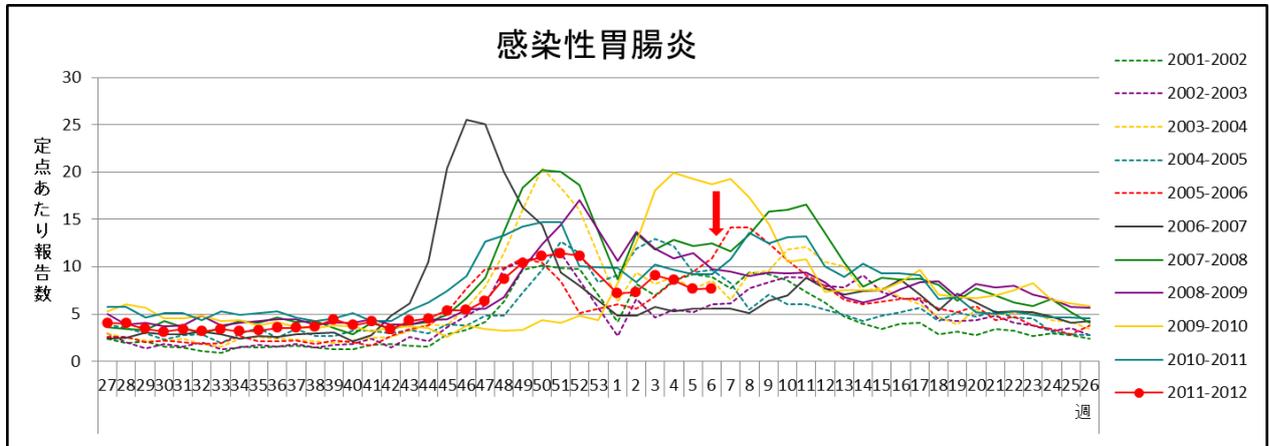
## 感染性胃腸炎情報 第 6 週 2012 年 2 月 6 日～2 月 12 日

○岡山県内の患者報告数は 415 名（ 定点あたり 7.69 人 ）で、前週とほとんど変わりませんでした。

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、玉野市と岡山市の小学校でありました。

### 【第 7 週 速報】

○感染性胃腸炎による学年閉鎖が倉敷市の幼稚園（15 日）、岡山市の幼稚園（16 日）、早島町の学校（16 日）、学級閉鎖が津山市の小学校（13 日）でありました。

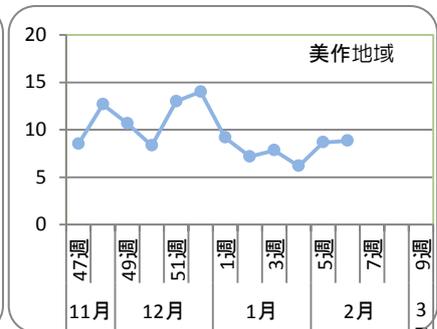
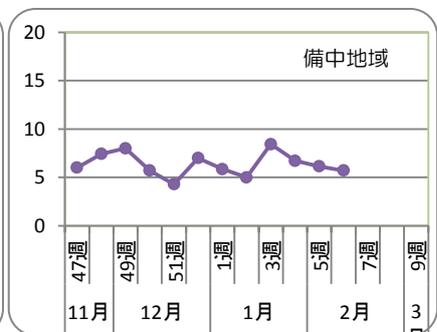
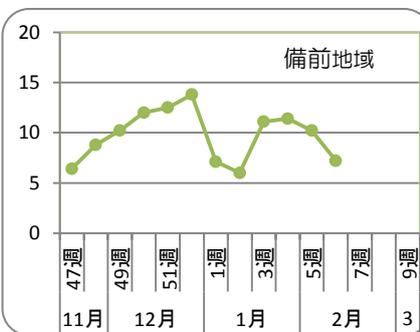
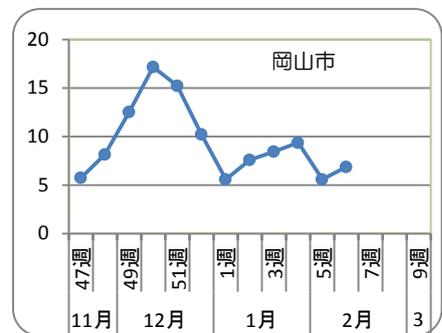
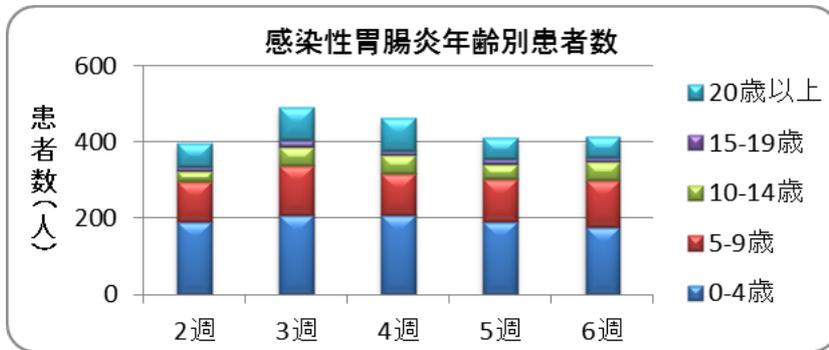


※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほとんど変わりませんでした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.63 → 7.69 人）。地域別では、倉敷市（ 10.55 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0-4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

第 6 週、感染性胃腸炎による臨時休業が 2 施設でありました。全国ではノロウイルスによる食中毒・集団感染事例も多数発生しています。『手洗いを励行する』『食品は加熱して食べる』など感染予防に努めましょう。

○ノロウイルス感染症とその対応・予防（厚生労働省） ・[家庭等一般の方々へ](#) ・[医療従事者・施設スタッフ用](#)



保健所別報告患者数 2012年 6週 (2012/02/06～2012/02/12)

2012年2月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2324	27.67	565	25.68	664	41.50	391	26.07	311	25.92	54	9.00	167	55.67	172	17.20
RSウイルス感染症	9	0.17	2	0.14	3	0.27	-	-	-	-	1	0.25	-	-	3	0.50
咽頭結膜熱	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	12	0.86	14	1.27	-	-	3	0.43	-	-	5	2.50	19	3.17
感染性胃腸炎	415	7.69	96	6.86	116	10.55	72	7.20	40	5.71	30	7.50	8	4.00	53	8.83
水痘	44	0.81	15	1.07	14	1.27	2	0.20	10	1.43	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	7	0.13	3	0.21	2	0.18	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	0.17	3	0.21	1	0.09	2	0.20	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
突発性発疹	20	0.37	5	0.36	9	0.82	3	0.30	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	24	0.44	6	0.43	8	0.73	1	0.10	6	0.86	2	0.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 6週 (2012/02/06～2012/02/12)

2012年2月15日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2324	27.67	565	25.68	664	41.50	391	26.07	311	25.92	54	9.00	167	55.67	172	17.20
咽頭結膜熱	4	0.07	1	0.07	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	0.98	12	0.86	14	1.27	-	-	3	0.43	-	-	5	2.50	19	3.17
感染性胃腸炎	415	7.69	96	6.86	116	10.55	72	7.20	40	5.71	30	7.50	8	4.00	53	8.83
水痘	44	0.81	15	1.07	14	1.27	2	0.20	10	1.43	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	7	0.13	3	0.21	2	0.18	1	0.10	-	-	1	0.25	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	0.17	3	0.21	1	0.09	2	0.20	-	-	1	0.25	-	-	2	0.33
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	24	0.44	6	0.43	8	0.73	1	0.10	6	0.86	2	0.50	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	2	0.40	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2012年 第6週 2012/02/06～2012/02/12 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2324	9	25	83	126	121	145	165	142	140	130	126	373	106	123	201	111	74	61	40	23

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	9	4	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	4	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	-	-	-	2	5	12	9	3	8	4	3	6	-	1
感染性胃腸炎	415	5	21	41	34	36	40	37	27	21	23	14	50	11	55
水痘	44	-	2	9	11	6	4	4	1	1	1	2	3	-	-
手足口病	7	-	-	4	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	-	-	2	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	1
突発性発疹	20	-	11	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	24	-	-	-	3	1	5	1	2	3	1	3	2	-	3

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

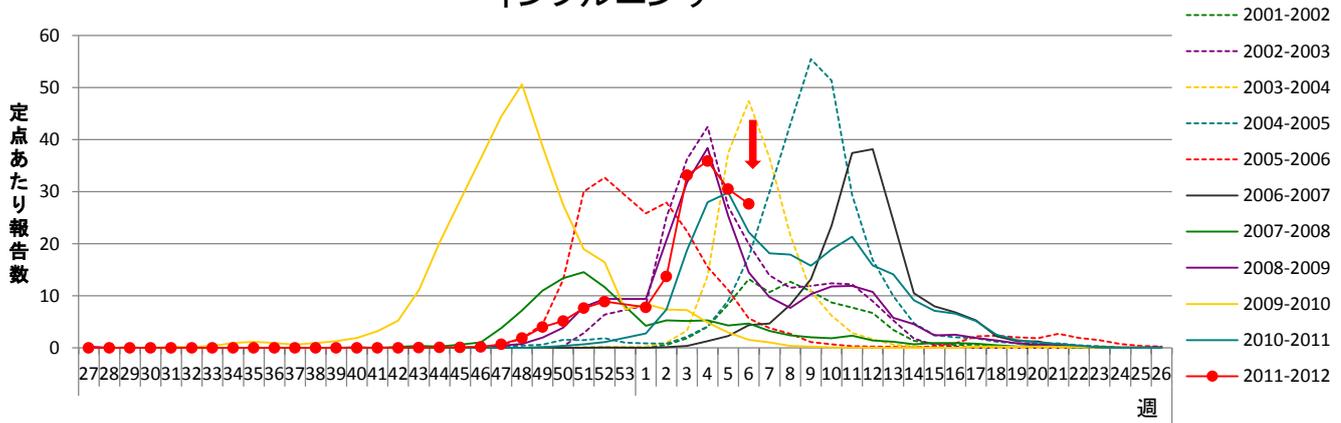
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

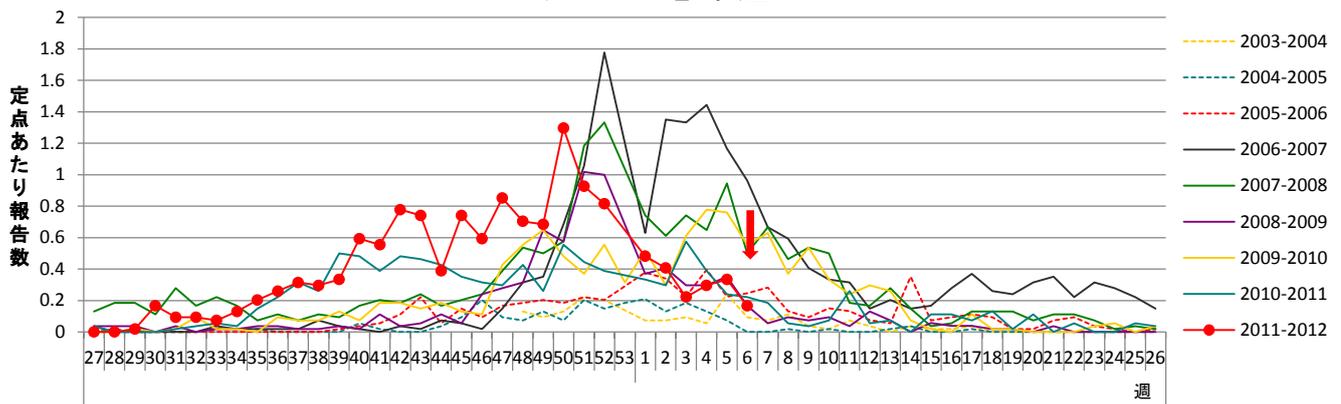
2012年 6週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	18	548	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	2	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	1	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	1	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	3	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	2	4	4		-	-	-		-	-	-

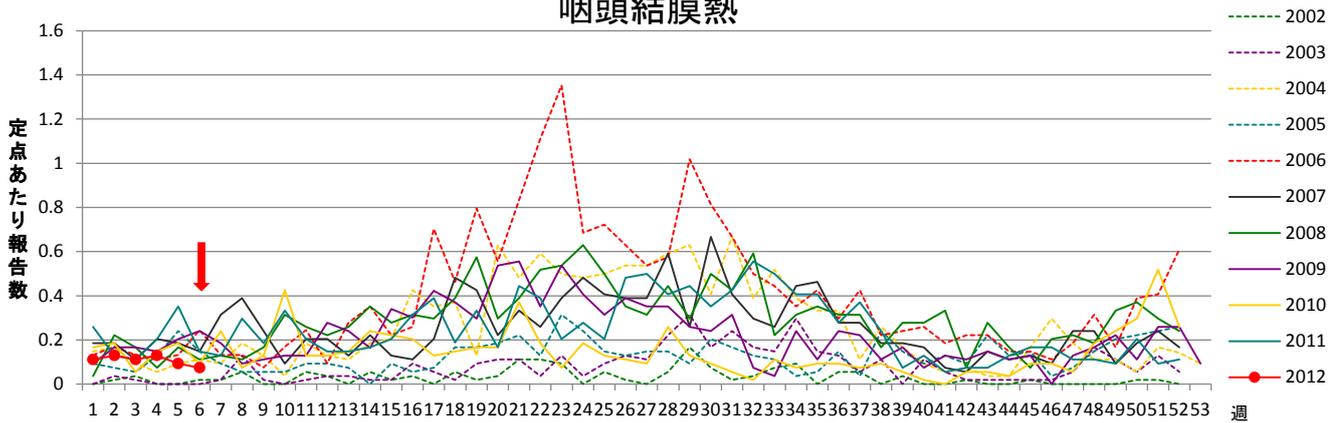
### インフルエンザ



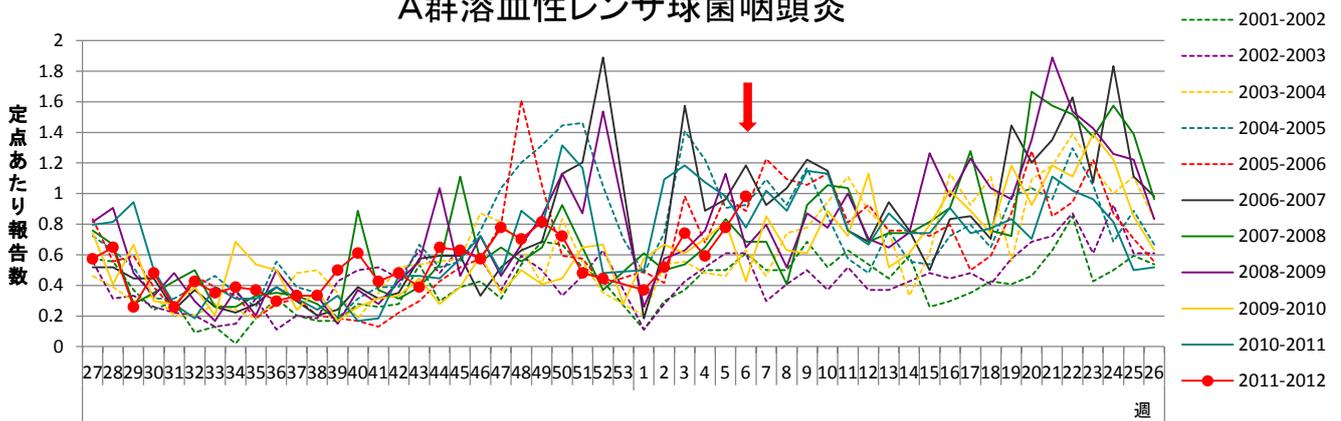
### RSウイルス感染症



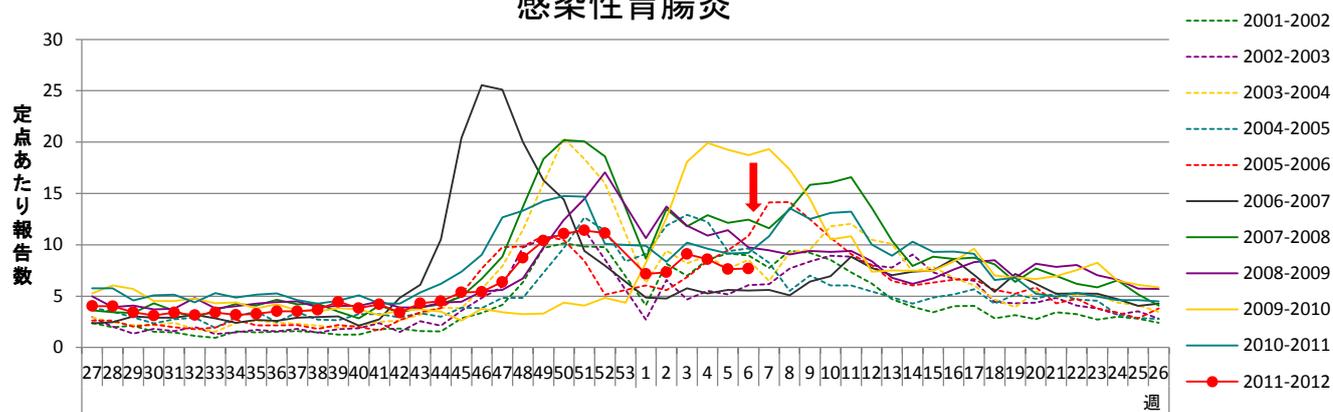
### 咽頭結膜熱



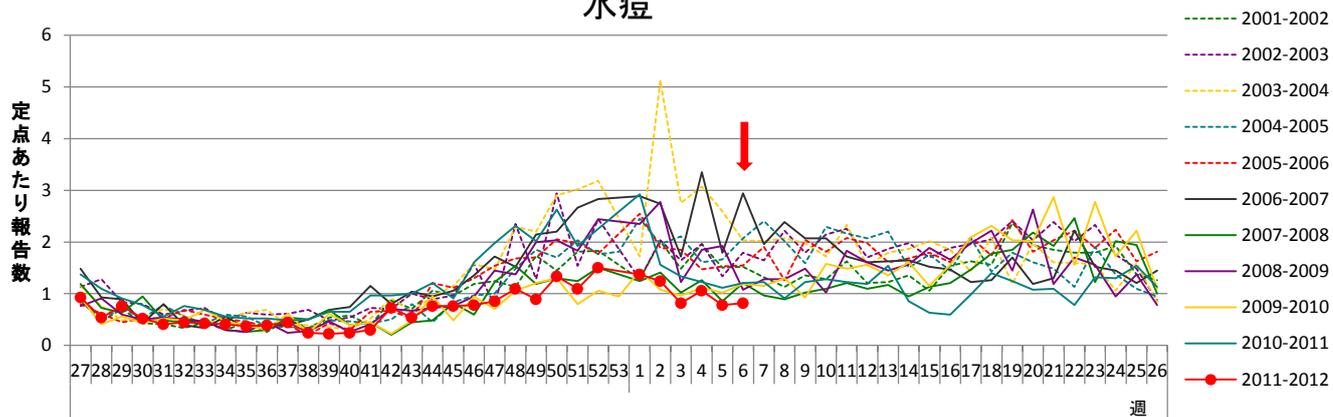
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



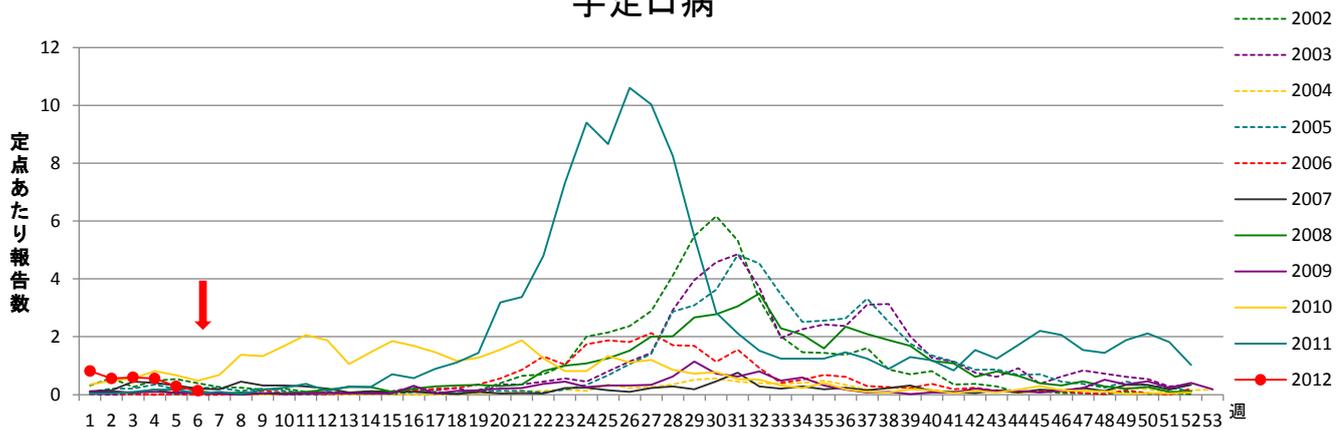
### 感染性胃腸炎



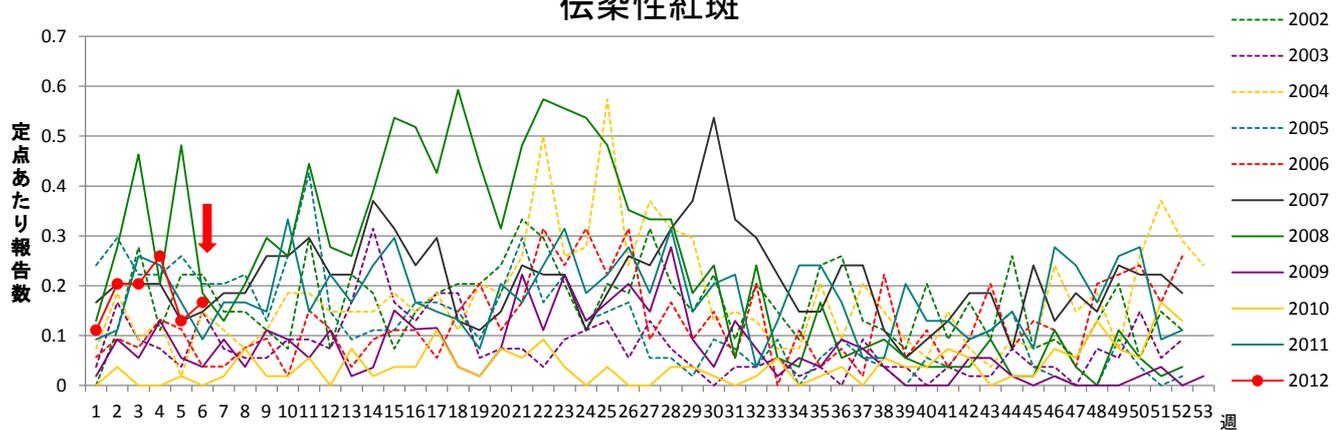
### 水痘



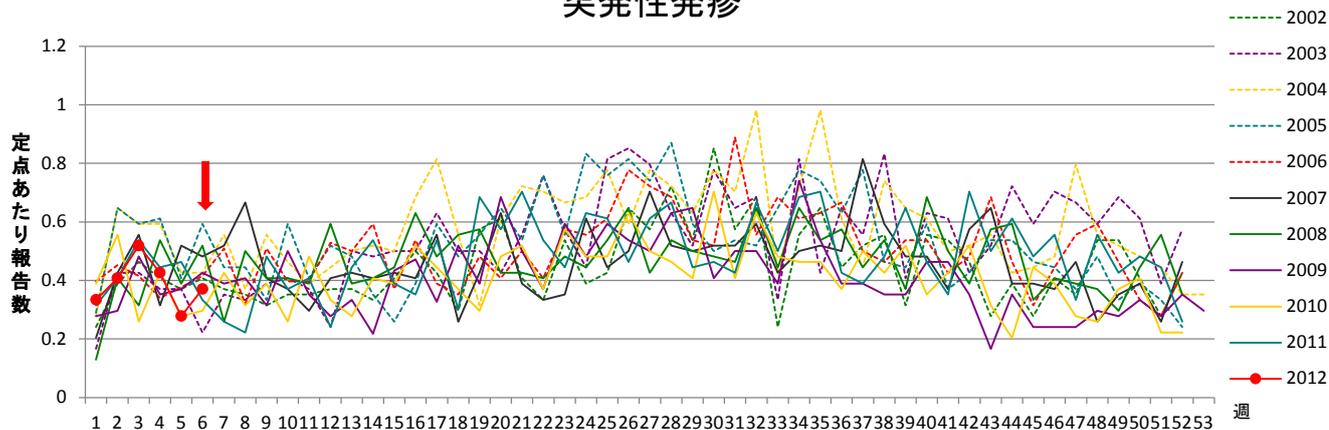
### 手足口病



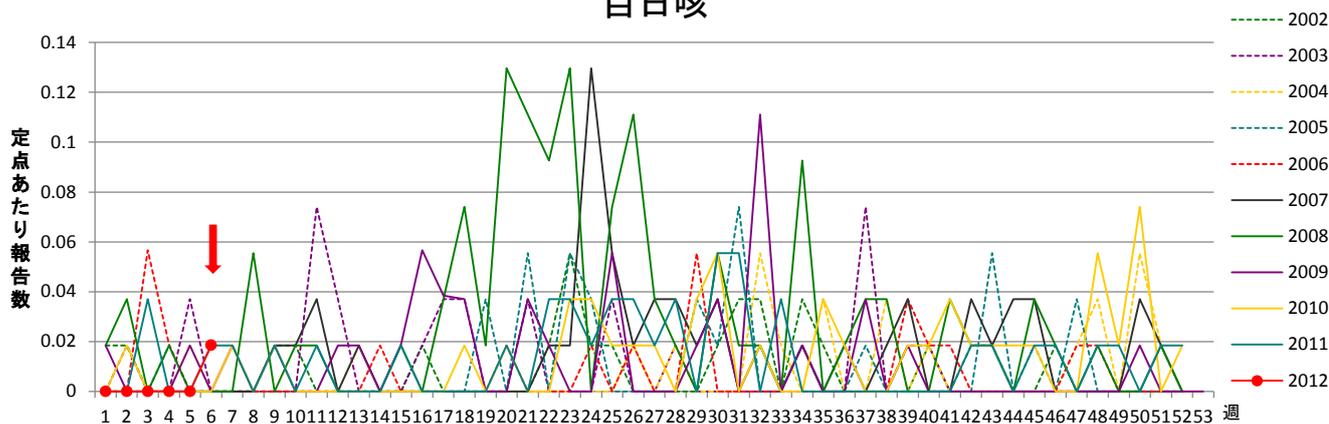
### 伝染性紅斑



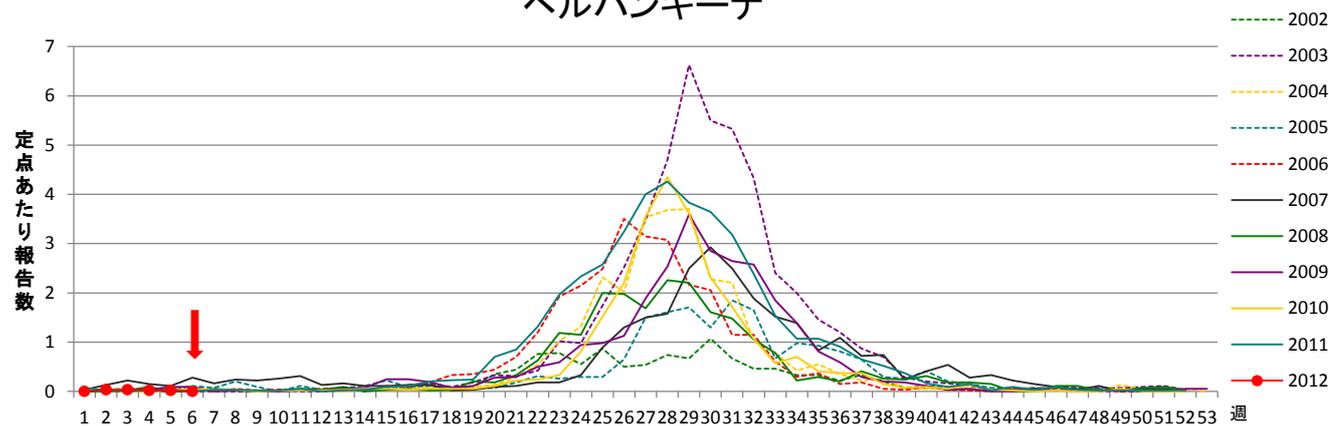
### 突発性発疹



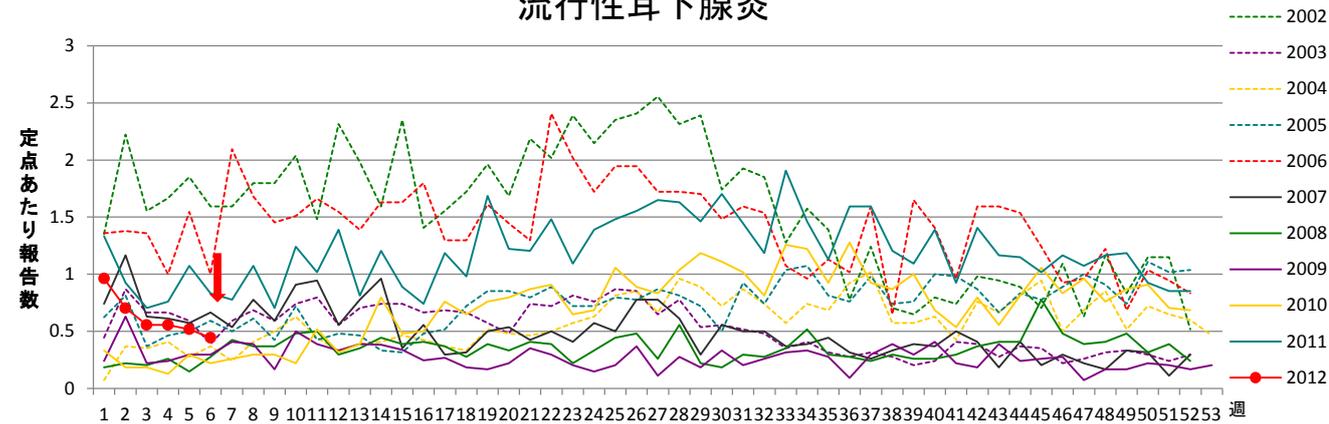
### 百日咳



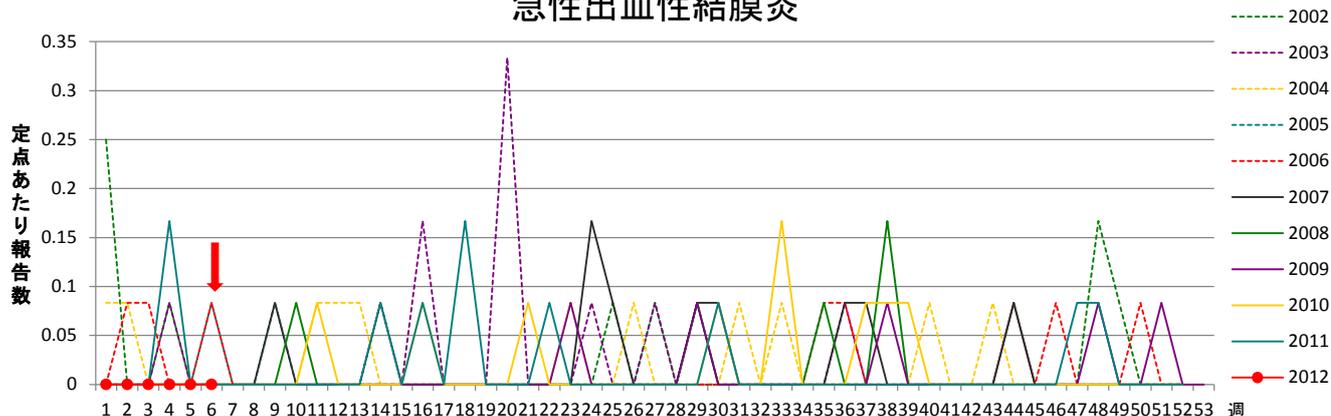
### ヘルパンギーナ



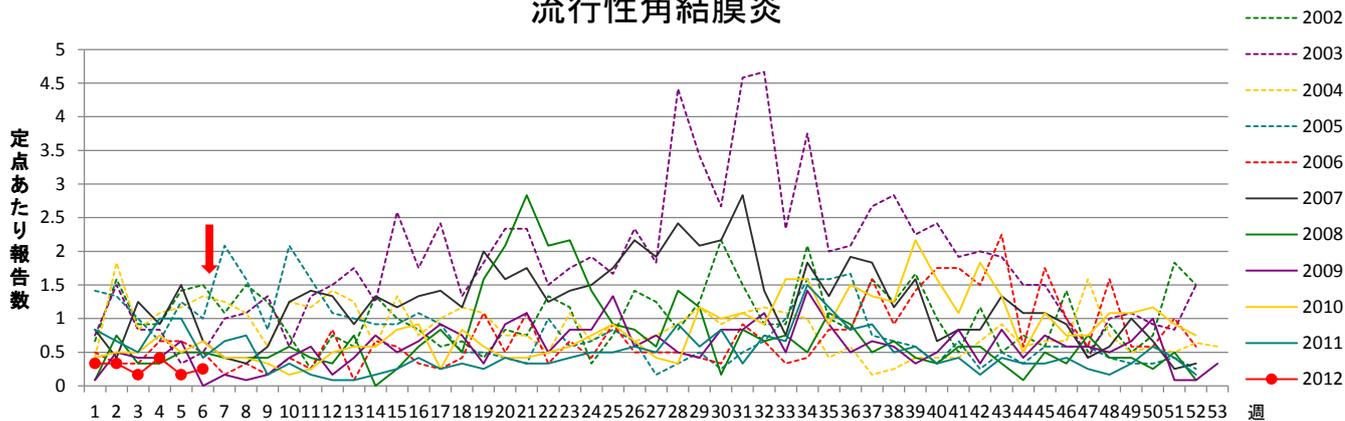
### 流行性耳下腺炎



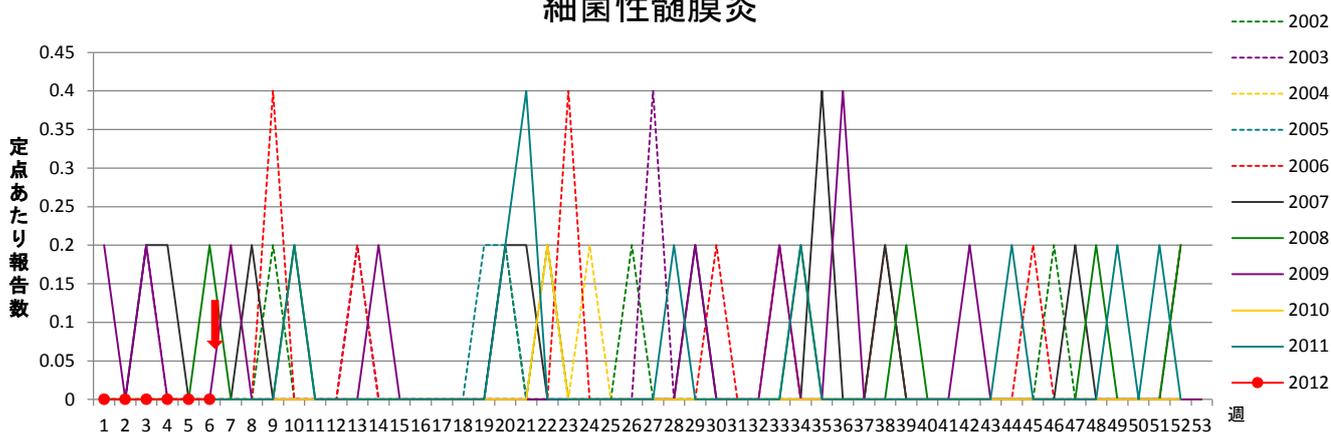
### 急性出血性結膜炎



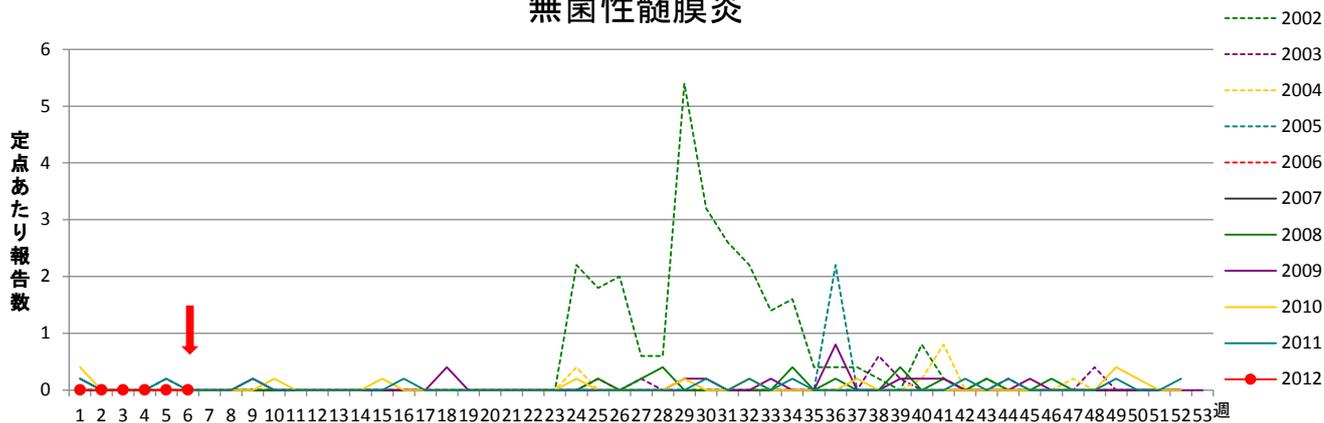
### 流行性角結膜炎



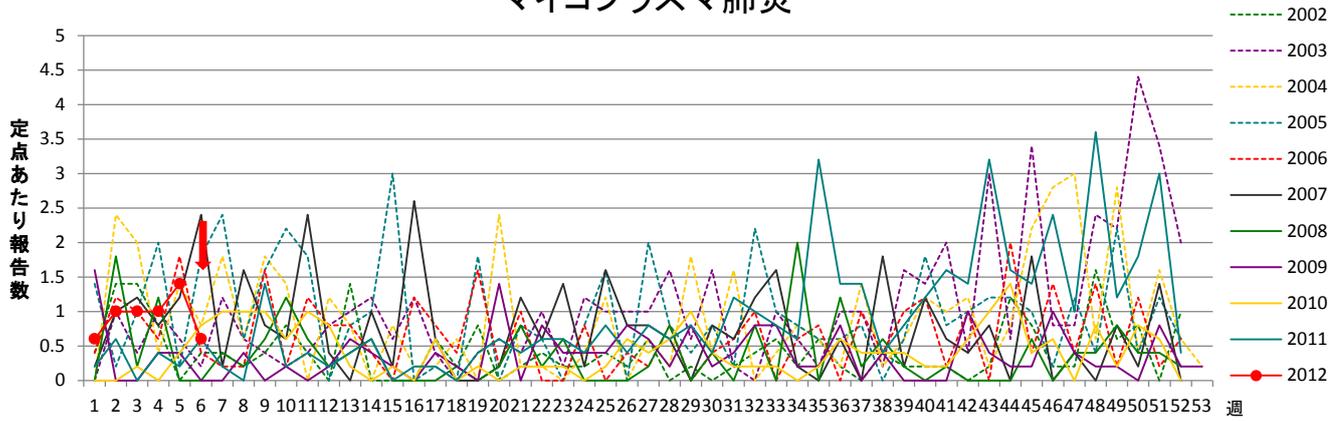
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

